

平成24年度 第1学年 家庭科 シラバス

観点①生活や家庭科への関心・意欲・態度
観点③生活の技能

観点②生活を工夫して創造する能力
観点④生活や家庭科についての知識・理解

第1学年 家庭科の評価規準

1 關心・意欲・態度

- 食事の役割や健康の関わりについて関心を持っている。
○食品に含まれている栄養素について関心を持っている。
○中学生の時期の栄養の特徴について関心を持っている。
○食品の栄養的特質について関心を持っている。
○食品の選択と簡単な日常食の調理について、関心を持って学習活動に取り組み、食生活をより良くしようとしている。
○家族や地域の方との関わりについて関心を持っている。
○日常食や地域の食材を生かした調理の計画に関心を持って取り組み、学んだ知識を活用しようとしている。

2 生活を工夫し創造する能

- 食事点検などから問題点を見付けその解決のため工夫している。
 - 中学生に必要な栄養量を満たす一日分の献立を工夫している。
 - 食品の選択と簡単な日常食の調理について課題を見付け、その解決を目指し工夫している。
 - 現代または自分の食生活の課題に対し、自分なりの工夫ができる

3 生活の技能

- 自分の食事を点検することができる。
 - 栄養素の種類や働きや食品の栄養的特質について調べたり、まとめたりすることができる。
 - 中学生の一日分の献立を考えることができる。
 - 食品を適切に選択し、安全と衛生に留意して簡単な日常食の調理ができる。
 - 食生活の課題を解決できる献立作成ができる。
 - 地域の食材を生かした献立作成ができる。

4 生活の家庭についての知識・理解

- 食事の役割と健康と食事との関わりについて理解している。
 - 五大栄養素の種類と働きについて理解している。
 - 中学生の時期の栄養の特徴について理解している。
 - 食品の栄養的特質を理解し、一日に必要な食品の概量がわかる。
 - 食品の選択と簡単な日常食の調理に関する基礎的な知識を身につけている。
 - 現在の日本の食生活の課題がわかる。
 - 地域の食材（郷土料理・行事食）について理解している。